

横須賀芸術劇場 少年少女合唱団  
「訪問コンサート」in やまびこ荘

平成24年7月21日 15:00開演  
特別養護老人ホーム「やまびこ荘」  
指揮:武田雅博 ピアノ:淵上千里

横須賀芸術劇場少年少女合唱団「訪問コンサート」は、横須賀芸術文化財団が普段なかなか劇場までお越し頂けない方々や地域の方々に合唱団の歌声を楽しんで頂くことを目的として平成20年に始めたもので、今回で5回目となります。

今年は、7月21日に武山のふもとにある特別養護老人ホーム「やまびこ荘」に伺い、入居者のお年寄りの方々約60名を前に、小学6年生から高校3年生までの団員30名が約1時間のミニコンサートを行いました。



毎年、芸術劇場の大ホールで行う定期演奏会とは違い、聴衆であるお年寄りの一人一人の表情がはっきり見える訪問コンサートでの演奏は、団員にとって特別な体験です。特に初めて参加する団員にとっては、とても緊張するものです。しかし、いつも活動をともにし



ている武田先生の指揮で演奏が始まると、団員達の緊張はほぐれて、段々と明るい表情になっていきます。

馴染みのある日本の歌「早春賦」から始まって、「アヴェマリア」、「ハンガリアンダンス」などクラシックの名曲を含む9曲を披露。

進行役は中学1年生の団員が受け持って、曲目や歌の聴きどころを紹介しました。そして、なごやかな雰囲気では進んでいきました。

## ～交流タイム～

この訪問コンサートで、演奏する他にいつも欠かさずに行っていることは“交流タイム”です。心を込めた演奏を聴いていただいた後、団員達がお年寄りたちの中に入って話しかけ、楽しい会話がはずみます。なにを話そうか・・・戸惑う団員には、まるで自分の孫のように温かくリードしてくれる方も・・・。





ひとしきり会話がはずんだ後は、全員で「ふるさと」を合唱しました。昔の思い出をかみしめているように目を閉じて歌う方や感極まって目に涙を浮かべる方もおり、歌声を通して心が通じ合えたひとときとなりました。

最後には、「アンコール！」とお声がかかり、合唱団が演奏会で必ず歌っている曲、「元気に笑え」で応えます。歌い終わった後には、大きな拍手喝采と沢山の笑顔をいただきました。

毎回訪問コンサートを終えるごとに、その魅力は歌を通じたコミュニケーションや音楽のもつ力で皆を笑顔に、そして勇気づけられることだと実感します。団員にとってもその力を実感する貴重な体験の機会となりました。このことが今後の演奏につながることを期待します。

横須賀芸術劇場少年少女合唱団では、今後も地域に根ざした音楽活動を通して様々な交流を継続して行って参ります。



◎やまびこ荘の副施設長、栗田さんのコメント◎

これほど素晴らしい合唱団が来てくれるとは思いませんでした。聴いていて鳥肌が立ち、今までにこんな経験はありません。お年寄の皆さんもとても良い表情で聴いていました。また機会があれば皆さんの歌を聴きたいと思います。